



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 日本ケミカルリサーチ株式会社  
コード番号 4552 URL <http://www.jcrpharm.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼社長

(氏名) 芦田 信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 萬谷 哲志

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 0797-32-8591

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	7,036	16.6	1,046	222.1	1,009	180.0	605	426.3
22年3月期第2四半期	6,035	16.6	324	—	360	—	115	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	19.07	18.71
22年3月期第2四半期	4.57	4.56

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	29,882	22,593	75.4	697.77
22年3月期	29,148	20,483	70.2	700.80

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 22,525百万円 22年3月期 20,462百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,400	0.1	1,320	△34.3	1,320	△29.1	830	△36.3	25.92

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 32,421,577株 22年3月期 29,344,654株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 139,266株 22年3月期 145,386株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 31,767,345株 22年3月期2Q 25,194,122株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. その他の情報	11
研究開発品目	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、本年5月にキッセイ薬品工業株式会社との共同開発による腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」を発売し、本年7月には、成長ホルモン製剤「グロウジェクト」に関する大日本住友製薬株式会社との販売提携契約を解消して成長ホルモン事業を譲り受け、同社から43名の出向社員を受け入れ販売体制の強化および効率化を図りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、成長ホルモン製剤「グロウジェクト」につきましては、薬価基準引下げの影響により前年同期比で減収(3.2%減)となったものの、41億75百万円を確保し期首予想を達成いたしました。このほか既存製商品は、抗がん剤原体および尿由来製品についても前年同期比で減収となりましたが、新製品「エポエチンアルファBS注JCR」および前年同期には発生しなかった契約金収入の計上が寄与した結果、医薬品事業における売上高は、前年同期に比べ9億77百万円(16.7%)増加して68億49百万円となりました。

研究用・医療用機器事業の売上高も、前年同期に比べ22百万円(13.8%)増加して1億86百万円となった結果、当社グループの売上高は前年同期に比べ10億円(16.6%)増加して70億36百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の増収効果に加え、研究開発費が減少したことなどにより、営業利益は10億46百万円(前年同期比7億21百万円増)、経常利益は10億9百万円(前年同期比6億48百万円増)、四半期純利益は6億5百万円(前年同期比4億90百万円増)となりました。

研究開発の状況に関しましては、11頁「4. その他の情報 研究開発品目」をご参照ください。

なお、成長ホルモン事業の集約を契機として、販売特約店に支払う販売手数料を売上高から控除したことにより、売上高ならびに販売費及び一般管理費がそれぞれ27百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益および税金等調整前純利益への影響はありません。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりであります。

## セグメント別売上高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		増減
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
医薬品事業	5,871,906	97.3	6,849,764	97.3	977,857
医療用・研究用機器事業	163,970	2.7	186,518	2.7	22,548
合計	6,035,877	100.0	7,036,283	100.0	1,000,406

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は298億82百万円（前連結会計年度末比7億34百万円増）、負債合計は72億89百万円（前連結会計年度末比13億75百万円減）、純資産合計は225億93百万円（前連結会計年度末比21億9百万円増）となりました。

流動資産は、たな卸資産および売上債権が増加した一方、有価証券が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億11百万円減少して140億39百万円となりました。固定資産につきましては、主として神戸工場新棟の竣工による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ16億46百万円増加して158億43百万円となりました。

負債では、リース債務が増加した一方、本年5月付で転換社債型新株予約権付社債の全額が株式に転換されたことなどにより、前連結会計年度末に比べ13億75百万円減少して72億89百万円となりました。

純資産につきましては、転換社債型新株予約権付社債の転換などにより、前連結会計年度末に比べ21億9百万円増加して225億93百万円となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ23億81百万円減少して、39億52百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、3億62百万円（前年同期比8億17百万円の支出増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億90百万円、減価償却費の計上額4億53百万円が計上された一方で、たな卸資産の増加額5億82百万円、法人税等の支払額5億16百万円、売上債権の増加額4億77百万円、未払金の減少額98百万円があったことによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、10億1百万円（前年同期比10億円の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億96百万円、投資有価証券の取得による支出3億73百万円、有価証券の取得による支出2億2百万円があったことによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、10億10百万円（前年同期比6億15百万円の支出減）となりました。これは主に、リース料の前払いによる支出4億46百万円、配当金の支払2億91百万円、リース債務の返済による支出1億42百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は15,855千円減少しております。なお、営業利益および経常利益に与える影響は軽微であります。

#### ② ①以外の変更

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,870,768	1,901,996
受取手形及び売掛金	3,520,560	3,043,201
有価証券	2,889,002	4,333,929
商品及び製品	1,343,458	1,807,461
仕掛品	1,120,546	1,133,298
原材料及び貯蔵品	2,142,732	1,156,600
その他	1,157,740	1,579,429
貸倒引当金	△5,649	△4,944
流動資産合計	14,039,160	14,950,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,593,540	3,027,395
土地	3,604,920	3,604,920
その他(純額)	3,073,960	2,279,383
有形固定資産合計	10,272,421	8,911,699
無形固定資産		
投資その他の資産	120,629	118,883
投資有価証券	4,355,845	4,522,796
その他	1,266,914	816,388
貸倒引当金	△172,539	△172,539
投資その他の資産合計	5,450,220	5,166,645
固定資産合計	15,843,271	14,197,229
資産合計	29,882,431	29,148,202
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	921,268	914,855
短期借入金	1,704,800	1,782,800
未払法人税等	369,538	553,220
賞与引当金	274,850	225,679
役員賞与引当金	28,000	74,500
その他	1,736,722	1,811,057
流動負債合計	5,035,179	5,362,113
固定負債		
社債	—	2,000,000
長期借入金	584,400	634,800
退職給付引当金	48,131	51,913
その他	1,621,334	615,604
固定負債合計	2,253,865	3,302,318
負債合計	7,289,044	8,664,431

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061,866	8,061,866
資本剰余金	10,778,123	9,779,147
利益剰余金	2,837,536	2,523,798
自己株式	△84,702	△83,912
株主資本合計	22,592,824	20,280,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,690	111,404
繰延ヘッジ損益	△128,227	4,998
為替換算調整勘定	56,186	65,410
評価・換算差額等合計	△67,350	181,814
新株予約権	67,659	20,825
少数株主持分	253	231
純資産合計	22,593,387	20,483,771
負債純資産合計	29,882,431	29,148,202

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,035,877	7,036,283
売上原価	1,797,105	2,209,412
売上総利益	4,238,771	4,826,870
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	3,913,963	3,780,586
営業利益	324,808	1,046,284
営業外収益		
受取利息	23,375	27,687
受取配当金	9,592	11,056
保険返戻金	24,542	—
為替差益	8,974	—
その他	9,129	20,066
営業外収益合計	75,615	58,810
営業外費用		
支払利息	35,195	27,929
為替差損	—	15,815
持分法による投資損失	—	48,846
その他	4,649	3,060
営業外費用合計	39,844	95,652
経常利益	360,579	1,009,442
特別利益		
投資有価証券売却益	13,914	—
貸倒引当金戻入額	—	20
特別利益合計	13,914	20
特別損失		
固定資産処分損	4,020	3,978
投資有価証券評価損	270,775	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,783
その他	1,300	—
特別損失合計	276,095	18,761
税金等調整前四半期純利益	98,398	990,700
法人税、住民税及び事業税	32,041	345,505
法人税等調整額	△49,327	39,443
法人税等合計	△17,285	384,948
少数株主損益調整前四半期純利益	—	605,752
少数株主利益	592	21
四半期純利益	115,091	605,730

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,749,470	3,125,024
売上原価	771,951	1,057,541
売上総利益	1,977,518	2,067,482
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	1,998,488	1,917,838
営業利益又は営業損失(△)	△20,969	149,644
営業外収益		
受取利息	11,903	14,329
受取補償金	—	8,927
為替差益	6,642	—
その他	6,970	8,051
営業外収益合計	25,515	31,307
営業外費用		
支払利息	19,159	14,822
為替差損	—	18,379
持分法による投資損失	—	24,128
その他	2,741	1,742
営業外費用合計	21,900	59,073
経常利益又は経常損失(△)	△17,354	121,878
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産処分損	2,346	3,445
投資有価証券評価損	270,775	—
その他	1,300	—
特別損失合計	274,421	3,445
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△291,776	118,436
法人税、住民税及び事業税	△101,518	66,127
法人税等調整額	△52,453	△2,154
法人税等合計	△153,972	63,973
少数株主損益調整前四半期純利益	—	54,462
少数株主利益又は少数株主損失(△)	314	△18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△138,117	54,481

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	98,398	990,700
減価償却費	351,799	453,687
投資有価証券評価損益(△は益)	270,775	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,807	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22,825	705
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,318	49,170
受取利息及び受取配当金	△32,968	△38,744
支払利息	35,195	27,929
為替差損益(△は益)	17,631	△7,254
持分法による投資損益(△は益)	—	48,846
売上債権の増減額(△は増加)	△52,739	△477,359
たな卸資産の増減額(△は増加)	△628,960	△582,543
仕入債務の増減額(△は減少)	146,120	6,412
未払金の増減額(△は減少)	274,531	△98,132
その他	△21,807	△229,445
<b>小計</b>	<b>473,661</b>	<b>143,973</b>
利息及び配当金の受取額	37,423	43,748
利息の支払額	△35,639	△27,794
役員退職慰労金の支払額	△6,080	△6,080
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,905	△516,308
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>455,459</b>	<b>△362,460</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	800,000	—
有価証券の取得による支出	△100,000	△202,684
有価証券の売却及び償還による収入	599,879	100,031
有形固定資産の取得による支出	△628,315	△496,192
投資有価証券の取得による支出	△519,339	△373,748
貸付けによる支出	△70,500	△50,000
貸付金の回収による収入	—	50,416
長期前払費用の取得による支出	△6,064	△14,430
その他	23,173	△15,237
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,165</b>	<b>△1,001,844</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	△46,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△47,600	△82,400
リース債務の返済による支出	△116,467	△142,570
リース料の前払いによる支出	—	△446,078
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,608,603	△1,812
配当金の支払額	△133,038	△291,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,625,709	△1,010,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,330	△7,032
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,170,084	△2,381,684
現金及び現金同等物の期首残高	5,620,523	6,334,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,450,439	3,952,754

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成22年5月6日付で、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の全額(2,000,000千円)が株式に転換されたことにより、資本金が1,000,000千円、資本剰余金が999,999千円、それぞれ増加しております。

## 4. その他の情報

## 研究開発品目

## 1. 医薬品

開発番号（一般名）	開発段階	適応症等
		備考
JR-401S (遺伝子組換えソマトロピン)	臨床 第Ⅲ相試験	子宮内発育遅延性低身長
		グロウジェクト効能拡大 自社開発
JR-041 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	第Ⅰ相試験準備中	不妊治療
		完全無血清培養技術による生産 あすか製薬株式会社へ導出
JR-032 (遺伝子組換え イゾロネート-2-スルファターゼ)	前臨床	ハンター症候群（ライソゾーム病）
		酵素補充療法 完全無血清培養技術による生産 グラクソ・スミスクライングループと共同開発
JR-051 (遺伝子組換え α-ガラクトシダーゼA)	前臨床	ファブリー病（ライソゾーム病）
		酵素補充療法 完全無血清培養技術による生産 グラクソ・スミスクライングループと共同開発
JR-101 (遺伝子組換え グルコセレブロシダーゼ)	前臨床	ゴーシェ病（ライソゾーム病）
		酵素補充療法 完全無血清培養技術による生産 グラクソ・スミスクライングループと共同開発

## 2. 細胞治療

開発番号（一般名）	開発段階	適応症等
		備考
JR-031 (ヒト間葉系幹細胞)	臨床 第Ⅰ/Ⅱ相試験	骨髄移植に代表される造血幹細胞移植時の合併症である移植片対宿主病（GVHD）の抑制
		米国オサイリス社より技術導入 他家由来ヒト間葉系幹細胞の利用 持田製薬株式会社と共同開発